

# こぶしの風

(題字：こぶし園 赤羽伊吹さん)

第20号 平成28年11月10日発行

発行：社会福祉法人信濃こぶし会

広報誌こぶしの風編集委員会

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲4026番地1

電話 (0265) 35-8511 FAX (0265) 35-9016

URL <http://kobushikai.or.jp/>

E-mail [kobushi@dia.janis.or.jp](mailto:kobushi@dia.janis.or.jp)

## ハロウィンのパーティー



### 目次

こぶしの風20号を迎える・ぼっぼ建設工事・人事異動	2P
感覚統合について学ぶ・ワゴン車寄贈・避難訓練	3P
こぶしまつり・こぶし園旅行・ぼっぼの旅	4P・5P
秋の行事 ヘルパーステーションお出かけ	5P
動物とふれあう・ミニ夏祭り	5P
細きよすが第7報「ストープ用丸太椅子」	6P
ぼっぼ潤いと癒しを求めて・AED研修・国際福祉機器展	6P
保護者の広場 利用者さんの横顔	7P
職員の素顔 職員の横顔 編集後記	8P

作／ぼっぼ

瀧里美さん



無題

安心して暮らせる地域をつくるために

# 「こぶしの風」創刊から5年で20号を迎える

## ごあいさつ 理事長 片桐 秀人

「こぶしの風」は平成24年2月に創刊号を発行してから早20号を迎えます。信濃こぶし会は「安心して暮らせる地域をつくるために」をコンセプトに現在11事業を行なっています。



歴史の証人とも言えるこぶしの風の創刊当時を見ると懐かしく、こぶし会の歩みがよみがえります。信濃こぶし会の関係者や、ご支援頂いている多くの皆様にも法人の事業を知って頂ける情報手段の一つであります。

発行に携わる方々、ご苦労様ですがこれからも情報発信していきましょう。

## 関係する皆さんの協力に感謝

平成23年10月14日に広報委員会設置についての打ち合わせが行われ、委員会の任務、構成、委員の選出等を行い、こぶし会の広報活動が動き始めました。

発端になったのは、この時行われた第三者評価で事業規模から広報活動の必要性を指摘されたことからでした。

以後、法人の動きや季節に合わせた行事の紹介、利用者さんや職員の紹介など様々な出来事を取り上げ掲載してきました。オールカラー8ページを年4回順調に発行し、今回記念すべき20号を迎えました。関係者の熱意と保護者の皆さんの協力があったのことに感謝いたします。

編集委員長 大倉 淳司

## ぽっぽの建設工事始まる



新しいユアサポートぽっぽの建設安全祈願祭が、10月28日に行われ、建設工事が始まりました。安全祈願祭は、事故なく無事に工事が完成しますように、お祈りするお祭りです。理事長をはじめ法人関係者、地主さん、近隣の方、請負の神稲建設と設計管理の桂建築設計事務所の関係者などが、安全に立派な新しいぽっぽができるよう、神様をお願いしました。

毎日ぽっぽの利用者さんは、今どんな工事が行われているのか、楽しみに見学に行っています。皆さんも完成を楽しみにしててください。



また、この工事に合わせ、一貫道路から支援センターへの道路の一部拡張工事を行い、すれ違いがスムーズにできるようになりました。



## 10月1日付 人事異動をお知らせします

### 【管理者関係】

ヘルパーステーション小川・ぽっぽ・共同生活援助事業所管理者 片桐秀人、グース・パドルダック・アイビス・すけっと・相談支援事業所管理者 池田よし子

### 【グループホーム関係】

サービス管理責任者兼ヘルパーステーション支援員 春日恵子（ヘルパーステーションサービス提供責任者）

### 【ヘルパーステーション関係】

サービス提供責任者 宮下早苗（グループホームサービス管理責任者兼ヘルパーステーション支援員）

### 【ぽっぽ関係】

生活支援員 稲田由香（第二こぶし園生活支援員）

### 【グース関係】

指導員兼相談支援専門員 久保田俊恵（グース指導員）  
指導員 片桐勝彦（7/1新規）

【パドルダック関係】 支援員 下平真由美（新規）

## 40台収容の大駐車場完成

ぽっぽの建設に伴い、グループホームいちょうの西側で工事を進めていた駐車場がこのほど完成し、8月下旬から利用が始まりました。完成した駐車場は面積が約1,290㎡あり、普通車約40台の駐車スペースが設けてあります。

## 法人研修会 感覚統合について学ぶ

研修委員会主催の法人研修会が9月25日(日)に職員約60名が出席し、豊丘村の交流学習センターゆめあてで行なわれました。今回は作業療法士小野昭男氏をお招きして「感覚統合とは～子どもの問題を理解するための一助として～」の話をお聞きました。

昔子どもだった人も今子どもの人も、感覚の交通整理をすることにより、先の見通しをもってわかりやすく対応できるかもしれない。表面上の行動のできていない部分だけで判断するのではなく、隠れている部分にできることがあると支援者が気づき、自己肯定感を持てるように支援し、二次障害を起ささないための話をさせていただきました。

また、いろいろな事業所のスタッフが参加してアイ



ディアを出し合う「インシデントプロセス法」の研修は、グースより2事例が出され皆で意見を出し合い時間も忘れるほど活発に行われました。



### 保護者からワゴン車寄贈

10月12日に保護者の方からグースに8人乗りワゴン車を寄贈して頂きました。

おかげさまでグースの利用者さんが段々が増えてきて、送迎用の車が足りなくなってきたところ、今回のお話を頂きました。

この車は助手席が回転する乗り降りに便利な機能があります。大きな車なので中が広く、乗り心地も抜群！これからは、送迎はもちろんのこと、グースのイベントなどで遠くへ出掛ける時にも大活躍をしてくれる事と思います♪



論になり、はびねす前へ避難しました。その後、計画していた自治会指定の避難所（伝承館）への避難も体験しました。



### ぼっぼ、こぶし園、ホーム利用 酒本住夫さん 逝去

辻元アパートで生活をされていた酒本住夫さん(18号で紹介)が8月17日61歳でお亡くなりになりました。

縁あって東京から豊丘村の福島に来てから13年余り、辻元アパートに引っ越して半年が経ったころから体調を崩し、入退院を繰り返していました。

お祭りと中日ドラゴンズが大好きだった酒本さん。心からご冥福を祈ります。



### ホーム合同避難訓練

9月29日、喬木村にある4ホーム合同で避難訓練を行いました。

ここ数年の間にホーム周辺の景観も変わりました。今まで避難していたいちょう前の駐車場は新しい建物が出来たため、避難は難しくなったことから「まずどこへ避難したら一番安全なのか」を考えました。検討の結果、はびねす前の駐車場がベストではないかと結

## こぶしまつり 「ゆめあるて」で開催



今年で8回目を迎えた「こぶしまつり」は、10月8日(土)に「豊丘村交流学習センターゆめあるて」で行われ、参加者は楽しい一日を過ごしました。

この日は、地元のおよさこいクラブ「豊輝星」さんやDBGよしみバンドの皆さんをはじめ、遠くは塩尻より

## 秋は行事が

道化組合さんによる大道芸や皿回し体験など、どのステージもみなさんを楽しませてくれました。参加型のイベントに、会場はニコニコ◎◎満開の花がたくさん咲いていました。(すてきな黄門様も登場しました!)

また、お昼には厨房職員、お母さん方の特製カレー(エビフライ・オニオンリング・フランクフルト付き!)や地域の皆さんからいただいた果物をおいしくお腹いっぱいいただきました。

今回、こぶし園保護者会からこぶし園横断幕を寄贈していただき、会場をひととき賑やかにすることができました。こぶし会20周年に向けての第1歩を保護者の方々、地域の方々のご協力のもと、大成功に終えることができました。本当にありがとうございました。

## こぶし園旅行

### A班 2日間東京を満喫

A班は9月1日、いざディズニーランドへ出発!ほどよい晴れ方と暑さの下で、行動班ごとに思い思いのアトラクションを楽しみ、夜のパレードまでたっぷりディズニーを満喫してきました。

2日目は高所恐怖症の方も参加者全員が東京スカイツリーの展望台に昇り、眼下に広がる東京の景色をしっかりと目に焼き付けてきました。そのあとは、浅草寺界隈の散策を楽しみ、全員無事元気に帰ってくることができました。



食材に舌鼓を打ちながら、大熱唱のカラオケ大会で大盛り上がり、とても楽しい旅行となりました。

皆さまのご協力のおかげで、楽しく無事に行ってきたことを感謝します。(^^^#)

### C班 いろいろな生き物を見学

C班は9月16日に岐阜県方面に日帰り旅行に行ってきました。台風が近づいており朝から雨降りで見学を心配しましたが、皆さんのおこないがいいのか日中は回復し汗ばむほどの陽気となりました。

初めに「世界淡水魚園アクアトトぎふ」にいき、日本に住む魚や蛙などのほかに世界各地の川に住むたくさんの珍しい魚を見学しました。昼食はきのこと栗の釜飯やお刺身など美味しい料理に舌鼓をうち、午後は「日本モンキーセンター」へ行きました。園内では、猿山でニホンサルに餌をあげたり、ヤギや亀など小動物と触れ合ったりしました。盛りだくさんの内容で一日では足りないくらいでしたが、楽しい一日を過ごすことが出来ました。



### B班 伊勢神宮と海の幸堪能

B班は9月8・9日に三重方面へ行ってきました。東海地方に台風13号が接近中で、天候を心配しながらの旅行でした。伊勢神宮の参拝時、天からの聖水での全身清め(?)を体験した(笑)他は天候に恵まれ、遊覧船にも無事乗ることができました。鳥羽水族館では珍しい魚に目を奪われました。

夜の宴会は、伊勢海老のお刺身やアワビなどの高級

# めじろおし

## ぽっぽの旅

### 「食べる」をテーマに山梨へ

9月16日、山梨県へバス旅行に行ってきました。今回は「食べる」をテーマとした旅行でした。

この日の天気は、予報では雨…。しかし、てるてる坊主効果が雨に降られることなく、ぶどう狩りができました。希望者のみ脚立に上り甲州ぶどうを狩りました。中には30cm程の長いぶどうもありました。ぶどう棚の



下で多種類のぶどうをおいしく食べ、残りはお土産として持ち帰ってきました。

ぶどう狩り後の昼食はほうとうでしたが、みなさん完食！おかわりをする方もいました。

バスの中ではお楽しみの〇×クイズとカラオケで、笑ったり、真剣に歌ったりとにぎやかでした。みなさん笑顔で「たのしかった」と伝えてくれました。

## 赤一色のそばの花

ぽっぽでは9月19日に、毎年恒例となっている中川村の赤そばの花見学に行ってきました。

赤一色のそばの花畑に到着すると、大勢の見学者で大変にぎわっていました。ここは、中央アルプスを背景に飯田線赤そばの花と「てっちゃん」の人気撮影スポット！きれいな赤を発色するそばの花畑を、どんよりとした曇り空の中ゆっくり散策してきました。



## ヘルパーステーションお出かけ企画

### 恵那峡ランドで一日を楽しむ



10月21日(金)にヘルパーステーションのお出かけ企画を行い、総勢26名(支援員含む)で「恵那峡ワンダーランド」へ行ってきました。

暑くも寒くもない最高のお出かけ日和となり、恵那峡ワンダーランドに着くと、それぞれお目当ての場所へ移動。観覧車・メリーゴーランド・ジェットコースターなどに乗ったり、動物とのふれあいや園内を散策して吊り橋を渡ったりと思い思いの過ごし方で楽しみ、笑顔がいっぱいの1日となりました。

## パドルダック・アイビス

### 動物とふれあう

パドルダックとアイビスでは9月17日に中津川ふれあい牧場へ出かけました。「どんな動物がいるのかな?」「ウサギと散歩したいな!」と到着前からわくわく、やりたいことが沢山ある様子。

不思議なオブジェに出迎えられ、みんなの期待が高

まる中、動物たちが現れました。ウサギとヤギの散歩や馬のエサやり体験をしました。あっちこちに飛び回るウサギや、全く動こうとしないヤギに振り回され、大笑いしながら散歩しました。美味しいソフトクリームも食べて楽しい一日となりました。



## グース

### ミニ夏祭り

8月12日(金)に夏休みイベントとしてミニ夏祭りを行いました。

計画の段階から利用者さんと、ヨーヨー屋さんや、的入れ屋さん等の出し物を作りあげていき、当日は利用者さんが交互にお店屋さんやお客さんになって楽しみました。最後のスイカ割り大会では、手を叩きながら「こっちだよ!」「もっと前!」と声を掛け合う姿や、割れると同時に「わあーすごい!」と歓声が上がリ、ミニ夏祭りは盛り上がりを見せていました。



### 細きよすが 第7報

## 「ストーブ用丸太椅子」

昨今のまきストーブ人気にあやかって、両園の  
新生産活動（DLDの受託と合わせ）も順調に伸び



ています。  
さて、ストーブの前  
にかがんで薪をくべる  
のがなかなかコッペエ  
なのです。そこで丸太  
（格別の元玉など）を

使って椅子を作りました。利点は取手のロープと  
裏面に張り付けたカーペットです。ストーブ会社  
の方が「このアイデアもらった！」と叫んだほ  
どの優れものです。

この丸太を、第二こぶし園  
の利用者さんが丹念にサンド  
ペーパーで磨き上げています。  
※一基 **1,200**円（消費税込）  
※「コッペエ」：生田方言で  
「つらい・たいへんな」



## 潤いと癒しを求めて ぽっぽでフラワーアレンジメント

フラワーアレンジメントは、2・3ヶ月に一回実施し  
ているぽっぽの新しいプログラムです。「潤いや癒し  
を感じてほしい」という思いを込め取り組んでいます。

花とふれ合っている時の皆さんは優しい表情なので  
すが、気持ちはとても真剣です。



「この花知っている？」  
「きれいだね」と、花を  
通して自然と会話も広がっ  
ています。お一人ずつに  
十分な指導というところ  
にまで至っていないので  
すが、利用者さんと共に  
過ごす時間を大切にしてい  
きたいと思います。

## AEDを使用して 救急処置研修

法人看護師会では  
10月24日と28日に  
高森消防署の救急係  
古田智士救命救急士  
を講師にお願いして  
救急処置研修を行  
いました。



参加したのは、法人内の支援員などで、救急法の基  
礎から始まり、熱中症、けいれん、過呼吸、やけどに  
ついてわかりやすく教えて頂き、またAEDの扱い方  
についても再度確認をしました。

改めて私達の仕事はどんな内容であっても命に関  
っていること、命を守らなければいけないことを再度確  
認しました。

## 国際福祉機器展を見学



10月13・14日、東京ビックサイトで国際福祉機器  
展が開催され、両日グースとパドルダックのスタッ  
フが参加しました。

パドルダックには重心の利用者さんも多いので、

入浴関連、福祉車両・玩具に重点をおき見学しました。

入浴関連は、大型の特殊浴槽や高齢者向けの物が  
多く、子供の入浴に対しての小物や機器が少なく  
残念でした。しかし、最新の福祉機器を見学し皆で  
感想や意見を出し合ったことで、充実した一日とな  
りました。



**20号への歩み**  
バックナンバーは  
こぶし会ホームページで  
ご覧になれます。



## 保護者の広場

# 将来の自立へ花田養護学校で学ぶ娘 梨紗さん

久保田 和枝さん（亮太さん、梨紗さんのお母さん）

娘は肢体不自由ですが、療育センターひまわりを経て地元保育園から小学校へと進路を決める際は、周囲の方々の理解に恵まれ比較的スムーズに進学できました。そして中学校も地元へ進学したのですが、残念ながら馴染めず本人にとって悲しいことの多い生活になってしまいました。

その事もあり高校は諏訪市にある花田養護学校を選択しました。入学後は明るく元気に学校生活を楽しんでおります。現在は将来1人で生活をする為に、洗濯機の使い方、爪切り、入浴など生活の自立、移動のためのタクシーの使い方、コンビニでの買い物など経験を積み重ねながら、職場実習はすべて自分で計画を立てました。

中学校生活は悲しい事の多い日々でしたが、その経験が娘の成長に必要なだったし、将来社会に出た時に役に立つだろうと今は思えるようになりました。これからも様々な事があると思いますが、共に成長できるように頑張っていきたいと思っております。



現在、花田養護学校高等部2年生



久保田梨紗さんは花田養護学校高等部2年生、家を離れ寄宿で生活をされています。

休日は好きなパソコンをやったり、ゴロゴロしたり女子高校生の一面ものぞかせながら夢に向かって歩き出しました。

## 利用者さんの横顔

### アイビス

くまがい しょうご  
熊谷 将吾さん



将吾さんは、二分脊椎で、水頭症も合併しています。自分の障害に劣等感をもっていましたが、今年度アイスホッケーと車椅子テニスに出会い変わりました。毎週末、岡谷市や時には兵庫県へ早朝3時に家を出て練習に励んでいます。練習を重ねる事で自信がつき、中学校の文化祭で自分の障害について堂々と発表をしました。今はパラリンピックに出場したいという大きな夢に向かって走り出しています。

### ヘルパー ステーション

おぎや かずま  
小木曾 一真さん

僕、平日は第二こぶし園に通っているけど、土日祝日はヘルパーステーション小川の移動支援で、釣りや買い物、温泉、お祭り、養護学校の「花の木組」の和太鼓を支援員さんと一緒に楽しんでいるよ。たまに、ぐーすか家のショートスティに泊まることもあるんだ。

僕の色々な思いをトータル的にサポートしてもらっていて、どんどん意欲や行動範囲が広がっているんだ。(^-^)



### 職員の素顔

#### ヘルパー ステーション小川

小牧 里子  
(ヘルパー)



昨春より、ヘルパーステーションでお世話になっております。仕事を探していた時に、我が家のポストに「信濃こぶし会」の求人チラシが！！これがきっかけとなり働かせていただくようになりました。

Q：お住まいは？

A：支援センターまで歩いて数十秒です。

Q：趣味は

A：スポーツ。観るのもするのも好きです。

Q：仕事をしてみても

A：利用者さんに逢うと手を握ってくれたり、にこっと笑顔を見せてくれる姿に癒されます。

ひと言…日ごとに寒くなり、冷え性の私にはツライ季節がやってきます。防寒対策は必須です。経験不足ですが、よろしく願いいたします。

#### アイビス

高野 美貴  
(支援員)



以前からスポーツ観戦が好きで、家族や友人と行ったり1人で観に行く事もありました。結婚してしばらくは、そんな機会もすっかりご無沙汰していましたが、松本山雅というサッカーチームを知るにつれ、私の中のスポーツ観戦熱が再燃しました。

あまりスポーツに興味がない主人と、重心の娘と一緒に、どうやって観戦するのがよいか作戦を練りに練って、初めて家族で行くことができたのは4年前。久しぶりに、生でサッカーを観てスタジアムの雰囲気感激した事を、今でも覚えています。それ以来、せっせと松本に通う我が家。主人は私より熱心になり、娘は得点が入った後のスタジアムの光景が大好きです。

家族で同じ楽しみが持てる事本当に嬉しいです。

### 職員の動き



ぼっぼ  
支援員  
稲田 由香

第二こぶし園より異動となり、10月からユアサポートぼっぼでお世話になっております。難しいと感じることもありますが、利用者さんの笑顔に沢山励まされながら、日々楽しく働かせていただいております。少しでも信頼される支援員になれるよう頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。



グループホーム  
世話人  
大内 春子

5月より、さんらいず喬木でお世話になっております大内です。初めてのことで、先輩の方々に教えて頂いて早6ヶ月になりました。利用者さんの温かい言葉がけに勇気を頂き、感謝しております。利用者さんが楽しく暮らしていけるように頑張っていきたいと思っております。よろしく願いいたします。



グース  
支援員  
片桐 勝彦

12年程前にヘルパー講習で出会った方の依頼で土曜日や夏休みの支援をお手伝いした経験があります。当時の利用者さん達の成長と職員の皆様の変わらぬ若々しさに感動しております。様々な研修でスキルアップを計っておりますが、難しさでアップアップしてまいります。皆様のご指導をお願い致します。



我が家には雀がいます。車にひかれそうになっていたところを保護し7年目をになりますが、自然界では生きていない年数だと思えます。「ちゅん」と呼ぶと「チュン」と返事をします。今年の換羽期には翔べなくなり、いよいよよかな…?と心配しましたが、なんの何の又復活してくれました。疲れた私を温かい気持ちにしてくれる「小さな住人?」です。  
(林 千月)